



いけだ ゆうき  
**池田有気**さん  
千葉県立検見川高等学校教諭

千葉県出身。早稲田大学教育学部卒業後、平成4(1992)年、千葉県立高校の教諭に。16(2004)年に兵庫教育大学大学院学校教育研究科に入学し、歴史教育を専攻。修了後、千葉県道路環境課、県立市原緑高校を経て現職。



みずたに しんぺい  
**水谷真平**さん  
神戸市立だいち小学校教諭

神戸市出身。平成10(1998)年、学校教育学部学校教育専修を卒業。今年度は神戸市立だいち小学校で、1学期は1年生の学年担当、2学期は4年生の新学習システム担当。学部同窓会の13期幹事長も務めている。

→日米教員交流で訪ねた米国バーモント州の小学校でけん玉を披露しました



→1年生算数科「のこりはいくつ」の授業。ブロックを動かしながら引き算をします



## 大学院での充電期間が現在の仕事の起点になっています

**大** 学院での充電期間を終えて早6年。全国的に高名な原田智仁教授の聲に接し、個性豊かな仲間たちと議論した日を懐しく思い出します。潤沢なゆとりの時間を読書や巡検に充て、三草山3ルート踏破やソフトボールも楽しみました。一方、修士論文では円形脱毛症に苦しめられました。

修了後、千葉に帰郷してからは行政出向を経て、現在は高校で歴史教育を担当しています。昨年から文部科学省の映像審査委員を拝命し、今年

の大型連休にはフルブライト主催の日米教員交流で2週間訪米する機会に恵まれました。全て兵教大での学びが起点となっている気がします。

現在は新学習指導要領を控えて、歴史教育に英語での学びを取り入れようと構想中です。最近では兵教大に伺えませんが、学会などの折に最新の知識や精神的な喝を求めて参りたいです。その際には、40歳代に入り、折り返し地点を過ぎた自分の教職生活を少しずつ形にした何かを持って行けたらと考えています。

## 学部生の皆さんは若い今こそしっかりと体づくりを

**大** 学4年生の時、当時の恩師の助言を得て、1日の睡眠3時間で、教員採用試験の勉強とサッカー部の練習に打ち込みました。

学校現場に出るとハードな毎日が待っています。「健全な精神は健全な体に宿る」と言いますが、学部生の皆さんには若いときにこそ、健康に気を付け、体づくりをしっかりとしてほしいと思います。また、しんどいときは悩みを打ち明けることが大切です。現場の問題は複雑で根が深く、一人に対応するには難しいこ

とがあります。たくさんの人からアドバイスをもらい、良いと思うものを取り入れていくことが、自分の血となり肉となっていくと思います。

現場に出れば「先生」と呼ばれますが、自分の中身が変わるわけではありません。常に自分を見つめ、研さんを重ねること、そして、教員としての専門性を伸ばし続けることが大切です。私も皆さんの若さに負けないように自分を誠実に磨き続けます。この先、どこかの現場で出会えることを楽しみにしています。

### ▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ 教育実践研究活動等に係る表彰について

8月20日、21日に岐阜市で開催した第31回大学院同窓会総会で、平成23(2011)年度「教育実践研究活動等に係る表彰」を行いました。この表彰は、教育実践研究活動に顕著な成果を挙げ、大学や大学院同窓会の名誉を著しく高

めた修了生が対象。今年度は6人を表彰しました。詳しくはHyokyo-netをご覧ください。

◎被表彰者(敬称略)

嬉野賞/臼井英治(2期・社会系、岡山県)、河村龍之(2期・教育経営、山口県)  
奨励賞/浦辻洋一(11期・自然系、愛媛県)、西住徹(9期・社会系、兵庫県)、  
林保(5期・生活・健康系、広島県)、前田紘二(9期・芸術系、大阪府)